

学 報

No. 132

平成27年5月10日発行

上越教育大学

(掲載期間：平成27年3月1日～平成27年4月30日)

目 次

◇平成26年度上越教育大学学位記授与式……………1

■学長告辞

◇平成26年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………3

■学長告辞

◇平成27年度上越教育大学大学院入学式……………5

■学長告辞

◇平成27年度上越教育大学入学式……………7

■学長告辞

◇学 事……………9

■大学院入試（後期募集）

■学部一般入試（後期日程）

■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

■学生表彰式

■平成26年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

■平成27年度新入生オリエンテーション

■平成27年度新入生合宿研修

■新入生ノートパソコン準備講習会

■情報セキュリティ講演会

◇人 事……………13

■役員等紹介

■人事異動

■学内委員会委員等

◇一般通報事項……………54

■役員会

■経営協議会

■教育研究評議会

■教授会

■平成26年度上越教育大学国際交流のつどい

■第1回国立大学法人上越教育大学教育諮問会議

■イメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」着ぐるみのお披露目

■上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式

■退職者永年勤続表彰状授与式

■哈爾濱師範大学・内蒙古民族大学の招へい

■平成27年度附属図書館館内ツアー

■「上越教育大学出版会」最初の書籍刊行に伴う記者発表

■公開講座・免許法認定公開講座

■海外渡航

◇関係資料……………68

◇主要日誌……………71

平成 26 年度上越教育大学学位記授与式

平成 26 年度の学位記授与式が 3 月 19 日(木)午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐 藤 芳 徳

長い冬が過ぎ、暖かい陽光が降り注ぐ季節となりました。ここ上越は四季の変化が明瞭で、それぞれの季節を楽しむことができますが、春は心弾み、希望あふれる季節です。

本日、学位記を授与された 277 名の皆さん、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、学位記授与式にご臨席賜りましたご来賓の皆様、深く感謝申し上げます。修了生の皆さんが学位を手にすることができたのは、皆さんのたゆまぬ努力に依るものでありますが、その努力を支えてくれた家族、大学教職員、友人、現職の方は、上司、同僚、教育委員会の方々など多くの人たちへの感謝を忘れないでいただきたいと思います。

さて、修士課程においては、研究課題に沿って研究を進め、それが修士論文に結実したことでしょう。専門職学位課程においては、臨床力と協働力をベースとした即戦力が身についたことと思います。修士課程、専門職学位課程それぞれの課程において、獲得された能力は直ちに学校教育現場で役に立つものであり、まさに実践力と申しても過言ではありません。現職の人も新たに教師となる人も、どうか自信を持って教壇に立って下さい。また、目に見える形で獲得され自覚もされている能力、いわゆる顕在能力に加えて、潜在能力も十分に培われたものと確信しています。さらには、人間的な成長も遂げられていると思います。多様な課題解決には、顕在能力に加えて潜在能力や人間としての基礎教養も不可欠です。

現在、社会の変化のスピードが加速化し、技術もめまぐるしく変化しています。それに加えて、人々の価値観の多様化も進み、教育現場に大きな影響を与えています。これからさらにめまぐるしく変わると予想される社会を子どもたちは生き抜いていかなければなりません。どのような能力を身につけるか、身につけてもらうかは、教育に委ねられており、その責任は重大であると言えます。教育は、家族、学校、地域が一体となって行うものであり、子どもの将来を考え、子ども一人ひとりの個性や性格を尊重しながら遂行すべきであります。全ての子どもに輝かしい未来があります。子どもに対して、その成長を支援するという気持ちをいつも心に留め、子どもの学ぼうとする意欲を引き出してほしいと思います。

優れた教員であるためには、心と体のバランスが重要です。意欲的にものごとをとらえ、積極的に教育活動を遂行することが肝要で、そのためには精神的にも肉体的にも健康でなければなりません。心とは、人が人としてあること、すなわち生きることと同義であり、生きる力と言っても良いでしょう。学習指導要領で謳われている生きる力は、全ての人に共通する不可欠の能力であり、教師も例外ではありません。そのように思いを巡らすとき、それは人間愛に行き着くのですが、とりわけ教師としては、子どもへの愛情が必要であることは言うまでもありません。また、心と体のバランスを維持するためには、適度の休息も必要でしょう。

ところで、種田山頭火は、「ふまれてタンポポ ひらいてタンポポ」という句を詠みました。五七五の定型にとらわれない自由な句ですが、ふまれても、と「も」が入ると違う意味になります。「も」が入らないことで、タンポポそのもの、あるがままのタンポポを詠んでいるといえます。うまくいってもいなくても、頑張っても頑張れなくても、嬉しくても悲しくても、それが自分そのものなのです。私たちは個々に独立した存在です。自分自身の個を尊重するとともに、他人、とりわけ児童・生徒の個を尊重し、その上で十分なコミュニケーションをとっていただきたいと思います。

これから充実した人生、教師生活を送るために、自分を支えてくれる人の存在は欠かせません。それは、家族であり、友人であり、同僚であり、時には自分が教えている子どもたちかもしれません。そのような絆を大切にしてください。上越教育大学で出会った教職員、友人、地域の人たちとの絆を大切にしてください。皆さんとの連携を深めるために、大学はホームページの充実や、同窓会の整備など様々なことを考えています。皆さんも上教大で得た友人との連携を緊密にさせていただきたいと思います。今月14日に、北陸新幹線が長野から金沢まで延伸し、上越妙高駅が開業しました。日本全国から上越教育大学へのアクセスが一層便利になりました。大学へもぜひ顔を見せてください。

結びとして、健康に十分留意し、謙虚な気持ちで教師として学び続け、人間としても成長し続け、教師として人間としての理想像を目指し、不断の努力を重ねていただくことを心より祈念し、告辞と致します。



平成 26 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 26 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日(木)午前 11 時 20 分から本学講堂で
挙行された。

式は、国歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介、学生
表彰と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐 藤 芳 徳

キャンパスの雪が溶け、吹き抜ける風に春の香りを感じる季節となりました。まもなく
市内の高田公園からは桜の便りが届くことでしょう。

本日、卒業証書を授与された 164 名の皆さん、誠におめでとうございます。また、保護
者の皆様に心よりお慶び申し上げます。ご多用のところ、ご臨席賜りましたご来賓の皆様
に心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、大学生活はいかがだったでしょうか。多くの思い出とともに皆
さんが卒業できるのは、皆さんの努力のたまものであることはもちろんですが、家族、友
人、教職員、地域の方々など、たくさんの人たちが支えてくれたことも忘れないで下さい。

本学のカリキュラムは、教師になるために必要な能力を十分身につけていただくように
構成されています。卒業に必要な単位を修得された皆さんは、自分では気がつかなくても
多くの能力を身につけています。どうぞ自信を持って教壇に立って下さい。また、進学な
ど教師以外の道を歩む人も、自信を持って社会に羽ばたいて下さい。しかし、皆さんの多
くは、いや全ての人がまだ自分は教師としてやっていくだけの能力は十分身につけていな
いと感じているのではないのでしょうか。実は、そのことが最も大切なのです。自分が完成
したと感じたとき、あるいはもう新しい力はつけなくても良いと考えたとき、それ以上の
進歩はありません。それ以上自分の能力を伸ばすことはできません。自分が未完成である
ことを自覚し、謙虚な気持ちで学び続ける姿勢が最も重要です。

今月 14 日に、北陸新幹線が長野から金沢まで延伸し、上越妙高駅が開業しました。これ
からますます便利になると思います。交通機関の発達や情報技術の進展は、私たちの日常
生活の範囲を拡大し、さらには社会のグローバル化も指摘されています。そのような中で、
グローバル人材の育成が急務であるとされています。それでは、グローバル人材とはどの
ような人を言うのでしょうか。これは様々な考え方があり、その定義は難しいのですが、
単に語学に優れている人を指すと言うことではありません。地球的な視野を有する人材と
言うことなのではないのでしょうか。主体性を持って活動し、言語や文化、思想が異なる人
たちと協働でき、新しい価値を生みだし有益な結果を残すことができる人を指すと考えま
す。それには、多様な能力を身につけ、多くの経験を積むことが求められますが、まずは、
言語や文化の異なる国や地域に、短期間でも良いから行ってみることが大切ではないで
しょうか。ぜひ、機会を作って行って見て下さい。私たちは、日本で暮らしているとともに、
世界の人たちとも一緒に暮らしていることが実感できると思います。

ところで、「心ここにあらざれば 視れども見えず 聴けども聞こえず 食らえどもその味
を知らず」という言葉があります。何かに気を取られて集中力を欠いていると、何かを視
ても見ていないと同じ、何かを聴いても聞いていないことと同じ、食べてもその味が分か
らないという意味です。例えば、バスに乗ってぼんやり車窓を眺めていても、道路の周り

の土地利用はわかりませんし、バスを降りてからも思い出せません。それと同じで、子どもが何を言っているのだろうと集中して聞かなければ、子どもの発する言葉の意味が十分理解できません。さらには、極めてささやかに、しかもあいまいな表現で伝えられる情報を的確にキャッチすることは不可能です。子どもを含めて他の人が発信する情報は、聞こうとする気持ちや姿勢がなければ受け取ることができません。相手が何を考え、何を欲し、何が言いたいのかの情報を得るための有効な手段は、自分を一時離れて、自分を相手の立場に置く、すなわち相手の立場に立ってみるということです。情報があふれる現在、情報を選択し必要な情報を的確に得るために、ぜひ試みて下さい。

何か新しいことを始めようとするとき、勇気が必要です。その勇気は、ほんの少しあれば一歩前へ踏み出すことができます。また、充実した内容としたり大きな成果を上げるためには、自信と希望が不可欠です。自信はほどほどに、希望は大きければ大きいほど良いと思います。これからの人生では、楽しいことやつらいことなど様々なことがあるでしょう。つらいときには、ぜひ上教大で学んだことを思い出して下さい。そして多くの教職員や友人、家族、地域の人たちが皆さんを支えていることを思い出して下さい。

結びに、健康に留意し、多くの子どもたちに慕われ、将来先生のような人間になりたいと思われる教師となって下さい。教育の要諦は、そこにあります。これからの皆さんの人生が実りある充実したものとなりますことを心より祈念し、告辞と致します。



平成 27 年度上越教育大学大学院入学式

平成 27 年度の大学院の入学式が 4 月 7 日（火）午前 9 時 30 分から本学講堂で举行された。

式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐 藤 芳 徳

キャンパスを吹き抜ける風に春の香りを感じ、暖かい陽光が降り注ぐ季節となりました。

本日、上越教育大学大学院に入学された 266 名の皆様、御入学おめでとうございます。本学教職員一同、在校生一同を代表して心よりお祝い申し上げます。また、御多忙のところ御臨席賜りました御来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、現職教員の資質能力の向上と初等教育教員養成という社会的要請に応えるために、昭和 53（1978）年 10 月に設立された新構想の大学です。また、平成 20 年からは、専門職学位課程いわゆる教職大学院を設置し、高度の専門的能力と優れた資質を有する教員の養成を目指しています。平成 25 年 12 月に、文部科学省から提示された本学のミッションの再定義において、本学修士課程は、学校現場における実践的研究を重視し、教科及び教職に係る優れた実践的指導力を備えた、高度専門職業人としての教員を養成し、並びに社会人をはじめ多様な人材の教員養成も行くとされました。また、専門職学位課程では、学校での実習を基礎とする授業科目を充実させるなどして、実践的課題解決に密接に関連する教育体制により、高度専門職業人としての教員を養成するとされました。2 つの課程ともに、高度専門職業人としての教員養成を謳っています。本学のカリキュラムは、高度専門職業人となるための必須項目で構成されていますが、新入生の皆様には、高度専門職業人となるためには、自分にとって何が必要なのか、これから始まる大学院生活の中で、何を身につけようとしているのか、もう一度考えていただきたいと思います。

これから大学院で学ばれるにあたって、注意点を 3 つほど申し上げたいと思います。1 つは、大学院入学の所期の目的を達成していただくとともに、教養を身につけ人格を磨き、人間としての幅を広げていただきたいと思います。2 つ目は、常に謙虚な気持ちで課題と向き合うということです。謙虚な気持ちで学んでこそ、その学修成果が身につく研究結果が自分のものとなります。また、研究倫理はもとより、研究マナー等も遵守して下さい。研究倫理に反する誘惑にかられ、あるいは安易な方法に手を染めたいこともあります。毅然とした態度と上越教育大学で学んでいるという矜持を保ち研究や実践を進めていただくようお願いいたします。3 つ目は、人と人とのつながりを大切にし、ネットワークを構築してほしいということです。人と人とのつながりや協力して物事を行うことの重要性は、教育や研究にもそのまま当てはまります。本学大学院では、現職教員やこれから教師になろうとしている方など、年齢や経歴、出身地域において様々な人が学んでいます。また、学部学生との交流も活発です。お互いに切磋琢磨して学ぶことを通じて、本学で培った人間関係をぜひ大切にして下さい。さらには、地域の人々との交流も盛んです。上越市、妙高市等と協定を締結し、地域に根ざした大学を標榜していますので、積極的に地域に出て活動していただくことを期待しています。

上越は、豊かな自然と風土、歴史や文化遺産に恵まれた地です。自然と向き合い地域の

人々とふれあうための場所や施設が大変多く存在し、日本の原風景とも言うべき景観があちこちに広がっています。また、教育に対する深い理解と愛情を有する地でもあります。教員になるための教育を受け、あるいは教員としての資質能力を身につけるためには格好の地といえます。教員としての資質向上のためには、多くの人と語り、互いを高め合うことが不可欠です。上越は、食材やお酒等に恵まれ豊かな食文化を有する地でもあります。ぜひそれらも堪能していただき、様々な交流に活用していただくようお願いいたします。

ところで、鉄杵を磨す^{てっしよをま}、という言葉があります。これは、辛抱強く努力すれば、必ず目的が達成できることのたとえとして使われます。鉄杵とは、鉄の杵^{きね}のことです。中国、唐の時代の詩人で杜甫とともに有名な李白が、あるとき学問がうまくいかず、学ぶのを断念して故郷に帰ろうとした道すがら、一人の老婆が一心に鉄の杵を磨いているのを見て、何をしているのか尋ねたところ、針を作っていると答えたそうです。一心に努力すれば、不可能と見えることも達成できる、そう悟って李白は学問を続けようと決心し、後世に残る仕事を成し遂げました。皆さんも、辛抱強く理想の教員を目指して努力して下さい。

結びに、精神面、肉体面での健康に十分留意し、充実した2年、免許取得プログラムの人は3年の大学院生活を送られ、全ての新生入生が所期の目的を達成して修了されますことを心より祈念し、告辞と致します。



平成 27 年度上越教育大学入学式

平成 27 年度の学部入学式が 4 月 7 日（火）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。
学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

キャンパス内の木々が芽吹き、吹く風も柔らかな季節となりました。

本日、上越教育大学学校教育学部に入學された 167 名の皆様、保護者の皆様、御入学おめでとうございます。本学教職員一同、在校生一同を代表して心よりお祝い申し上げます。また、御多忙のところ御臨席賜りました御来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、教員養成の広域拠点大学、先導的なモデル大学として昭和 53（1978）年に設立されて以来、着実な歩みを進めてまいりました。教師としての使命感、人間愛に基づき、教師として必要な知識や技術等を習得するための実践的なカリキュラムを構築しております。また、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、上越市教育委員会等と連携、意見交換し、社会や教育現場のニーズに対応したカリキュラム改革を絶えず進めてきました。

本学では、学生の皆さんが真の教育実践力を習得できるように、教育実習関連科目の充実に努めて、本学カリキュラムの最重要科目として位置づけています。教育実習については、1 年次から 4 年次まで全ての学年に配置し、事前事後指導を綿密に行い、教科指導力の向上や学級経営手法の習得、児童・生徒の様々な問題への対処等について十分な経験を積み、自信を持って教壇に立てるための実践的指導力が確実に身につくように構成しています。また、現在学校教育現場で大きな課題となっているインクルーシブ教育やボランティア科目についても卒業要件の必修科目としています。さらに、いじめや体罰の問題についても、その防止方法や対処について検討を進め、カリキュラムに反映しています。その他にも教育現場においては多くの課題があり、本学ではその解決策について、教員と学生がともに考え議論することにより、教師としての実践力が習得できることを目指しています。本学で真摯に努力を積み重ねれば、自然と教師として必要な実力が身につくと考えていただいて良いと思います。

本学の特色の一つに、大学院において多数の現職教員が学んでいることがあげられます。すなわち、教職を志す学生と大学院に在籍する現職教員がともに学ぶことが出来る環境にあります。学部学生の皆さんには、ぜひ現職の先生から教育現場の話や、教師としての心構え、身につけるべき教養等を聞いて、優れた教師になってほしいと思います。

教員を志している皆さんの多くは、おそらく理想の教師像を心の中に描いていることと思います。それは、もしかすると皆さんが薫陶を受けた恩師かもしれません。理想の教師とは、単に教育内容や教育技術が優れているだけでなく、一個の人間としても優れた人です。教師としての資質を磨き、教師としての能力を身につけることは人間として優れた人格形成を行うことと同じ意味です。理想の教師になるためには、自分に何が必要であり、何が不足しているのか考え、そのための努力を積み重ねてほしいと思います。また、大学の正規授業にとどまらず、スポーツや文化に関する課外活動に積極的に参加して、友達作りやコミュニケーション力育成にも励んで下さい。

ここ上越は自然が豊かで、文化や歴史に恵まれた地域です。また、教育に対する深い理解と愛情あふれる地域です。地域の人たちとの交流を通して広く社会一般に目を向け、社会人としての素養も身につけて下さい。また、上越は四季の変化が明瞭で、自然とふれあうには絶好の地です。ぜひ自然とふれあい自然からも学んでほしいと思います。

これから4年間の学生生活を送られるにあたって3つのお願いをいたします。1つは、今持っている教師になりたいという意志を4年間持続して下さい。いろいろなできごとがあり、ともすれば教師をあきらめたいと思うときがあるかもしれませんが、決してあきらめないで下さい。2つ目は、教師として必要な知識や技能を習得することのほかに、人間としての教養を身につけて下さい。これは、立派な人でないと教師になれないと言っているではありません。人格を磨き豊かな教養を身につける努力を継続してほしいということです。3つ目は、友だちを大切にして下さい。大学で得た友人は一生の友人です。友だちとの絆を大切にし、真の友情を深めて下さい。

結びに、孔子は論語の冒頭で、「学びて時にこれを習う、また説^{よろこ}ばしからずや。朋^{とも}あり、遠方より来たる、また楽しからずや。」と述べています。学んでそれを自分のものとし人格形成に活かす、それは喜ばしいことうれしいことだ、同じ志を持ったものが遠くから集まって切磋琢磨する、それは楽しいことだ、ということです。まさに皆さんの今の状況を表していることではないでしょうか。充実した4年間の大学生活を送り、4年後には全ての人が教師として羽ばたいていただくことを心より祈念し、告辞と致します。



学 事

○大学院入試（後期募集）

平成27年度大学院学校教育研究科入学試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員89人（学校教育専攻41人，教科・領域教育専攻48人）に対し，応募者57人，合格者43人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員25人（教育実践リーダーコース10人，学校運営リーダーコース15人）に対し，応募者7人，合格者5人であった。

出 願 期 間 平成27年2月5日（木）～2月16日（月）

試 験 日 平成27年3月3日（火）

合 格 発 表 平成27年3月18日（水）

○学部一般入試（後期日程）

平成27年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者311人，合格者45人であった。

出 願 期 間 平成27年1月26日（月）～2月4日（水）

試 験 日 平成27年3月12日（木）

合 格 発 表 平成27年3月21日（土）

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成26年度学位記授与式が平成27年3月27日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお，平成26年度修了者19人のうち，本学の配属学生は3人である。

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成27年度入学式が平成27年4月11日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスにおいて行われた。

なお，入学者28人のうち，本学の配属学生は7人である。

○学生表彰式

学業等が特に優秀な学生等を対象に，学生表彰式を実施し，表彰状を授与するとともに，記念品を贈呈した。

期 日 平成27年3月19日（木）

場 所 講堂

被表彰者氏名	表 彰 事 由
学校教育学部 教科・領域教育専修	独立行政法人国立青少年教育振興機構において，国立妙高青少年自然の家のボランティアとしてその活動が他の模範として高く評

社会系コース 4年 はぎわら まゆみ 萩原 麻弓	価値され表彰された。
学校教育学部 教科・領域教育専修 社会系コース 4年 ほそい まなみ 細井 愛未	学業成績優秀者

○平成26年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

スキル・トレーニングや意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともにその資質の向上を図ること、及び課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指すことを目的として実施した。

期 日 平成27年3月5日（木）・6日（金）（1泊2日）
場 所 国立妙高青少年自然の家
参加人員 学 生 90人
団 体 37
教職員 9人



○平成27年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程、履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 平成27年4月7日（火）・8日（水）
場 所 講堂，講義棟301教室ほか
内 容 <学部>
大学教育，教育課程と履修方法，クラス担当教員による指導ほか
<大学院>
大学院の教育・研究，教育課程と履修方法，個別指導，就職指導ほか
<全体>
海外教育（特別）（実践）研究及び海外派遣制度，学生指導，保健管理センターほか

○平成27年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日

平成27年 4月24日（金）・
25日（土）

場 所

国立妙高青少年自然の家

参加人員

1年次学生 167人

教職員 23人



○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを、学内において活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 平成27年 4月10日（金）～22日（水）（水曜日及び金曜日）

場 所 教育情報訓練室 2

講習内容 （1）学内ネットワーク接続の方法
（2）ポータルサイト、Webメール、印刷ステーションの利用方法
（3）アンチウィルスソフトの導入方法等

参加人員 学部新入生 166人／大学院新入生 18人



○情報セキュリティ講演会

新入生及び在学生と教職員を対象として、大学における教育・研究等の学生生活において、コンピュータのウイルス感染や不正侵入、個人情報流出などの対策等、安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である、「情報セキュリティ対策」に関して次のとおり講演会を実施した。

期 日 平成27年 4 月15日（水）

場 所 講堂

講 師 情報メディア教育支援センター 准教授 石川 真

参加人員 学部新入生 166人／大学院新入生 44人



人 事

○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	たちやしきかおる 立屋敷 かおる	平成 2 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日	昭和 5 2 年 4 月 女子栄養大学助手 昭和 5 8 年 4 月 上越教育大学学校教育学部講師 昭和 6 3 年 4 月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 1 1 年 1 2 月 上越教育大学学校教育学部教授 平成 1 9 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成 1 9 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科部主事 (平成 2 0 年 3 月まで) 平成 2 0 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成 2 3 年 3 月まで) 平成 2 5 年 4 月 国立大学法人上越教育大学理事兼副学長
副学長	あまの かずたか 天 野 和 孝	平成 2 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日	昭和 5 7 年 4 月 日本学術振興会奨励研究員 昭和 5 8 年 4 月 上越教育大学学校教育学部助手 昭和 6 1 年 4 月 上越教育大学学校教育学部講師 昭和 6 3 年 4 月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 1 9 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科准教授 平成 2 0 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成 2 1 年 4 月 上越教育大学附属中学校長 (平成 2 3 年 3 月まで) 平成 2 5 年 4 月 上越教育大学副学長
副学長	ひろせ ひろかず 廣 瀬 裕 一	平成 2 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日	昭和 5 1 年 4 月 富山県公立中学校教諭 昭和 5 5 年 4 月 富山県立高等学校教諭 昭和 5 7 年 4 月 富山県総務部総務課 昭和 5 9 年 4 月 富山県立高等学校教諭 平成 9 年 4 月 富山県教育委員会学校教育部教職員課 管理主事 平成 1 2 年 4 月 富山県教育委員会学校教育部教職員課 主任管理主事 平成 1 5 年 4 月 富山県公立中学校校長 平成 1 6 年 4 月 富山県教育委員会教職員課主幹 平成 1 9 年 4 月 富山県立高等学校校長 平成 2 0 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成 2 2 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科専攻長 (平成 2 5 年 3 月まで) 平成 2 5 年 4 月 上越教育大学学長特別補佐 (平成 2 7 年 3 月まで) 平成 2 7 年 4 月 上越教育大学副学長
副学長	はやし やすなり 林 泰 成	平成 2 7 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 9 年 3 月 3 1 日	平成 8 年 1 0 月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 1 9 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成 2 1 年 4 月 上越教育大学附属小学校長 (平成 2 3 年 3 月まで) 平成 2 3 年 4 月 上越教育大学大学院学校教育研究科専攻長 (平成 2 5 年 3 月まで) 平成 2 5 年 4 月 上越教育大学副学長

○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	役 員			
H27. 4. 1	任用更新	理事	立屋敷 かおる	理事
	部局長等			
H27. 3. 31	免	経営協議会委員	加 藤 誠 雄	上越市立大手町小学校長
H27. 4. 1	兼 務	副学長	立屋敷 かおる	理事
	任用更新	副学長	天 野 和 孝	副学長
	任 命	副学長	廣 瀬 裕 一	教授（学校教育学系）
	任用更新	副学長	林 泰 成	副学長
	任 命	経営協議会委員	西 村 俊 夫	理事
	任 命	経営協議会委員	立屋敷 かおる	理事
	任 命	経営協議会委員	天 野 和 孝	副学長
	任 命	経営協議会委員	松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	経営協議会委員	早 川 義 裕	上越市立城西中学校長
	任 命	教育研究評議会評議員	立屋敷 かおる	理事
	任 命	教育研究評議会評議員	天 野 和 孝	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	廣 瀬 裕 一	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	林 泰 成	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	梅 野 正 信	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	大 庭 重 治	教授（臨床・健康教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	小 埜 裕 二	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	川 崎 直 哉	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	直 原 幹	教授（芸術・体育教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	中 山 勘次郎	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	松 沢 要 一	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	越 良 子	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	石 野 正 彦	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	太 田 恵 雄	理事
	任 命	教育研究評議会評議員	田 上 隆	事務局次長

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H27. 4. 1	兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務	附属図書館長 学校教育実践研究センター長 保健管理センター所長 情報メディア教育支援センター長 心理教育相談室長 特別支援教育実践研究センター長 国際交流推進センター長 附属幼稚園長 附属小学校長 附属中学校長 学校教育学系長 臨床・健康教育学系長 人文・社会教育学系長 自然・生活教育学系長 芸術・体育教育学系長 学校教育専攻長 教科・領域教育専攻長 教育実践高度化専攻長 学長特別補佐	廣 瀬 裕 一 石 野 正 彦 上 野 光 博 内 藤 美 加 加 藤 哲 文 河 合 康 黎 子 椰 木 村 吉 彦 越 良 子 志 村 喬 梅 野 正 信 大 庭 重 治 小 埜 裕 二 川 崎 直 哉 直 原 幹 中 山 勘次郎 松 田 慎 也 松 沢 要 一 加 藤 誠 雄	副学長 教授（学校教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 教授（自然・生活教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（人文・社会教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 教授（人文・社会教育学系） 教授（自然・生活教育学系） 教授（芸術・体育教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（人文・社会教育学系） 教授（学校教育学系） 特任教授（学校教育実践研究センター）
	大学教員			
H27. 3. 30	退 職 退 職 退 職	上越市立春日中学校教頭 上越市立春日小学校教諭 上越市立高志小学校教諭	中 野 博 幸 渡 辺 径 子 清 水 雅 之	特任准教授（学校教育実践研究センター） 特任准教授（学校教育実践研究センター） 特任准教授（学校教育実践研究センター）
H27. 3. 31	定年退職 定年退職 定年退職 退 職 退 職 退 職 退 職 退 職 退 職 任期満了 任期満了	東北大学大学院教育学研究科准教授 愛媛大学教育学部准教授 愛知教育大学教育学部講師 鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授	武 嶋 俊 行 前 川 利 広 加 藤 泰 樹 朝 倉 啓 爾 井 本 佳 宏 加 藤 哲 則 高 橋 靖 子 石 濱 博 之 有 澤 俊太郎 平 野 絹 枝	教授（学校教育学系） 教授（人文・社会教育学系） 教授（芸術・体育教育学系） 教授（学校教育学系） 准教授（学校教育学系） 准教授（臨床・健康教育学系） 准教授（臨床・健康教育学系） 准教授（人文・社会教育学系） 特任教授（人文・社会教育学系） 特任教授（人文・社会教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H27. 4. 1	昇 任	教授（学校教育学系）	五百川 裕	准教授（学校教育学系）
	昇 任	教授（学校教育学系）	赤 坂 真 二	准教授（学校教育学系）
	昇 任	准教授（臨床・健康教育学系）	山 本 隆一郎	講師（臨床・健康教育学系）
	配 置 換	教授（学校教育学系）（学校教育実践研究センター）	石 野 正 彦	教授（学校教育学系）
	採 用	教授（学校教育学系）	近 藤 誠	川越市立教育センター臨時講師
	採 用	教授（臨床・健康教育学系）	野 口 孝 則	帝塚山大学現代生活学部准教授
	採 用	准教授（学校教育学系）	山 田 智 之	町田市立鶴川第二中学校副校長
	採 用	准教授（学校教育学系）（学校教育実践研究センター）	中 野 博 幸	上越市立春日中学校教頭
	採 用	准教授（学校教育学系）（学校教育実践研究センター）	渡 辺 径 子	上越市立春日小学校教諭
	採 用	准教授（学校教育学系）（学校教育実践研究センター）	清 水 雅 之	上越市立高志小学校教諭
	採 用	准教授（自然・生活教育学系）	小 川 佳 宏	東京工業大学大学院理工学研究科助教
	採 用	講師（人文・社会教育学系）	長谷川 佑 介	
	採 用	講師（人文・社会教育学系）	中 平 一 義	厚木市立東名中学校教諭
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	加 藤 誠 雄	上越市立大手町小学校長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻芸術系コース」	西 村 俊 夫	理事
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻自然系コース」	天 野 和 孝	副学長
	兼 務	教授「教育実践高度化専攻教育実践リーダーコース・学校運営リーダーコース」	廣 瀬 裕 一	副学長
	兼 務	教授「学校教育専攻学校臨床研究コース」	林 泰 成	副学長
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	廣 瀬 裕 一	副学長
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	松 沢 要 一	教授（学校教育学系）
	兼務解除	教授（学校教育実践研究センター）	水 落 芳 明	教授（学校教育学系）
	兼務解除	准教授（学校教育実践研究センター）	奥 村 太 一	准教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	安 藤 知 子	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	赤 坂 真 二	教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（学校教育実践研究センター）	土 田 了 輔	教授（芸術・体育教育学系）
	兼 務	准教授（学校教育実践研究センター）	松 井 千鶴子	准教授（学校教育学系）
	兼 務	講師（学校教育実践研究センター）	城 間 祥 子	講師（学校教育学系）
	兼 務	講師（学校教育実践研究センター）	辻 村 貴 洋	講師（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	附属教員			
H27. 3. 31	退 職	上越市立城北中学校養護教諭	大日向 仁 代	附属幼稚園養護教諭
	退 職	津南町立上郷小学校長	泉 豊	附属小学校教頭
	退 職	上越市立大町小学校教諭	高 橋 栄 介	附属小学校指導教諭
	退 職	上越市立大手町小学校教諭	朝 井 宜 人	附属小学校教諭
	退 職	新潟市立亀田西小学校教諭	川 村 孝 樹	附属小学校教諭
	退 職	長岡市立富曽亀小学校教諭	小野塚 知 実	附属小学校教諭
	退 職	十日町市立田沢小学校教諭	仲 村 恵	附属小学校教諭
	退 職	柏崎市立高柳小学校教頭	清 水 陽一郎	附属中学校主幹教諭
	退 職	上越市立城西中学校教諭	植 木 厚 夫	附属中学校教諭
	退 職	柏崎市立第一中学校養護教諭	山 賀 真 美	附属中学校養護教諭
H27. 4. 1	昇 任	附属中学校主幹教諭	杉 本 知 之	附属中学校教諭
	配 置 換	附属小学校指導教諭	木 村 貴 之	附属小学校教諭
	配 置 換	附属中学校養護教諭	中 村 直 美	附属小学校養護教諭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	小 出 信 也	附属中学校教諭
	配 置 換	附属中学校教諭	中 野 博 史	附属中学校指導教諭
	採 用	附属幼稚園養護教諭	加 藤 喜美江	上越市立宮嶋小学校養護教諭
	採 用	附属小学校教頭	青 木 弘 明	村上市立さんぽく南小学校教頭
	採 用	附属小学校教諭	長 野 哲 也	上越市立大手町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	倉 又 圭 佑	糸魚川市立糸魚川小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	川 村 正 和	新潟市立木山小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	伊 東 良 枝	長岡市立表町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	川 口 淳	長岡市立四郎丸小学校教諭
	採 用	附属小学校養護教諭	猪 又 智 子	上越市立春日新田小学校養護教諭
	採 用	附属中学校教諭	倉 又 佳 宏	上越市立城北中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	上 坂 知 大	上越市立城西中学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H27. 3. 31	事務系職員 定年退職		中 島 忍	附属学校事務室長
	定年退職		野 崎 薫	附属学校事務室附属学校チーム主査（主に附属中学校担当）
	定年退職		新 井 まり子	研究連携室国際交流チーム主査（主に留学生担当）
	退 職	文部科学省高等教育局私学部参事官付学校法人経営指導室私学経営専門官	加 藤 善 一	企画・広報課長
	退 職	信州大学附属図書館副館長	村 田 輝	学術情報課長
	退 職	国立大雪青少年交流の家管理係長	秋 山 洋	総務課付
	任期満了	新潟薬科大学事務部長	霜 越 隆 晴	参事役
	任期満了		井 上 由 子	総務課人事・労務チーム看護師（臨時職員）
	任期満了		丸 山 恵	学術情報課学術情報チーム（臨時職員）
H27. 4. 1	在籍出向	国立妙高青少年自然の家総務係長	高 波 聡 美	総務課人事・労務チーム主任
	研修出向	文部科学省行政実務研修生（総務課人事・労務チーム）	齊 藤 正 信	企画・広報課企画チーム
	配 置 換	事務局次長	田 上 隆	総合企画部長
	採 用	経営企画課長	祖父江 譲	岐阜大学学務部学生支援課長
	配 置 換	広報課長	亀 井 宣 幸	教育支援課長
	兼 務	参事役	亀 井 宣 幸	広報課長
	配 置 換	附属学校課長	恩 田 義 孝	学生支援課長
	配 置 換	施設課長	村 田 俊 行	施設マネジメント課長
	配 置 換	教育支援課長	細 谷 敏 明	研究連携室長
	配 置 換	研究連携課長	佐 藤 誠 一	就職支援室長
	配 置 換	学生支援課長	岡 崎 明 弘	入試課長
	昇 任	入試課長	佐 藤 裕 子	教育支援課副課長（教務支援担当）
	採 用	学術情報課長	佐 藤 秀	国立情報学研究所学術基盤推進部学術基盤課副課長
	任期更新	監査室（短時間再雇用職員）	後 藤 公 夫	就職支援室就職支援チーム
	休職期間更新	（27. 4. 1～27. 4. 30）	松 崎 良 一	総務課付
	配 置 換	総務課人事・労務チーム主査（主に給与担当）	島 田 一 馬	研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）
	配 置 換	総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）	松 木 光 永	入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）
	兼 務	入試課入試チーム主査	松 木 光 永	総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）
	採 用	総務課人事・労務チーム	岩 淵 貴要子	
	採 用	総務課人事・労務チーム（看護師）	井 上 由 子	
	配 置 換	経営企画課副課長	水 野 栄 二	企画・広報課副課長（主に企画担当）
	配 置 換	経営企画課経営企画チーム主査（主に改革担当）	藍 木 順 二	企画・広報課企画チーム主査（主に改革担当）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H27. 4. 1	配 置 換	経営企画課経営企画チーム主査（主に経営担当）	高 橋 信 寿	企画・広報課企画チーム主査（主に経営担当）
	配 置 換	経営企画課経営企画チーム主査（主に評価担当）	山 口 信 幸	企画・広報課企画チーム主査（主に評価担当）
	復 帰	経営企画課経営企画チーム	秋 山 裕 輝	総務課人事・労務チーム（文部科学省行政実務研修生）
	配 置 換	経営企画課経営企画チーム	市 村 渉	企画・広報課企画チーム
	配 置 換	経営企画課経営企画チーム	村 山 直 也	企画・広報課企画チーム
	配 置 換	広報課副課長	桐 山 敦 史	企画・広報課副課長（広報担当）兼入試課入試チーム主査
	配 置 換	広報課広報チーム主査（主に広報企画担当）	木 浦 正 志	企画・広報課広報チーム主査（主に広報企画担当）
	採 用	広報課広報チーム	工 藤 浩 暢	
	配 置 換	附属学校課附属学校チーム主査（主に附属学校担当）	小 山 公 一	附属学校事務室附属学校チーム主査（主に附属小学校担当）
	任期更新	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員）	瀧 澤 政 之	財務課経理・契約チーム
	任期更新	財務課財務チーム（臨時職員）	池 田 由美恵	財務課財務チーム（臨時職員）
	配 置 換	財務課経理・契約チーム主査（主に経理担当）	五百川 初 恵	総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）
	担当命免	財務課経理・契約チーム主査（主に契約第1担当）	岩 澤 秀 輝	財務課経理・契約チーム主査（主に契約担当）
	復 帰	財務課経理・契約チーム主査（主に契約第2担当）	安 田 大 信	国立妙高青少年自然の家管理係長
	配 置 換	財務課経理・契約チーム主任	赤 井 一 繁	学生支援課学生支援チーム主任
	配 置 換	施設課副課長	杉 田 徹	施設マネジメント課副課長
	配 置 換	施設課施設チーム主査（主に施設企画担当）	池 田 彰	施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設企画担当）
	配 置 換	施設課施設チーム主査（主に固定資産管理担当）	馬 場 光 雄	施設マネジメント課施設チーム主査（主に固定資産管理担当）
	配 置 換	施設課施設チーム主査（主に施設担当）	保 坂 一 成	施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設担当）
	配 置 換	施設課施設チーム主査（主に設備担当）	高 倉 則 男	施設マネジメント課施設チーム主査（主に設備担当）
	配 置 換	施設課施設チーム主任	伊 部 秀 子	施設マネジメント課施設チーム主任
	配 置 換	施設課施設チーム主任	栗 田 宗 央	施設マネジメント課施設チーム主任
	担当命免	教育支援課副課長（教務支援担当）	渡 邊 茂 康	教育支援課副課長（学校連携担当）
	昇 任	教育支援課副課長（学校連携担当）	小日向 幸 江	教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）
	配 置 換	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務推進担当）	浅 岡 芳 郎	教育支援課学校連携チーム主査（主にG P支援担当）
	担当命免	教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）	桐 山 泉	教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）
	配 置 換	教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）	飯 塚 章次郎	財務課経理・契約チーム主査（主に経理担当）
	復 帰	教育支援課学校連携チーム	千 島 和香奈	（育児休業）
	再 雇 用	教育支援課学校連携チーム（短時間再雇用職員）	野 崎 薫	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H27. 4. 1	配 置 換	研究連携課副課長	秋 山 由美子	研究連携室副室長
	配 置 換	研究連携課研究連携チーム主査（主に研究支援担当）	大 貫 健 治	研究連携室研究連携チーム主査（主に研究支援担当）
	配 置 換	研究連携課研究連携チーム主査（主に地域連携担当）	細 野 学	総務課人事・労務チーム主査（主に給与担当）
	配 置 換	研究連携課国際交流チーム主査（主に国際交流担当）	村 椿 和 之	研究連携室国際交流チーム主査（主に国際交流担当）
	配 置 換	研究連携課国際交流チーム主査（主に留学生担当）	瀧 本 理 恵	学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）
	配 置 換	研究連携課研究連携チーム主任	竹 内 若 奈	研究連携室研究連携チーム主任
	配 置 換	研究連携課研究連携チーム	小 林 大 亮	研究連携室研究連携チーム
	昇 任	学生支援課副課長	伊 藤 孝 之	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務推進担当）
	配 置 換	学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）	志 賀 和 孝	企画・広報課広報チーム主査（主に広報推進担当）
	配 置 換	学生支援課就職支援チーム主査（主に就職支援担当）	渡 邊 真紀子	就職支援室就職支援チーム主査（主に就職支援担当）
	配 置 換	学生支援課就職支援チーム主任	谷 口 紀 子	就職支援室就職支援チーム主任
	配 置 換	学生支援課学生支援チーム	草 間 祐 太	財務課経理・契約チーム
	昇 任	入試課入試チーム主査（主に学部入試担当）	岡 村 和 彦	入試課入試チーム主任
	再 雇 用	入試課入試チーム（短時間再雇用職員）	中 島 忍	
	復 帰	学術情報課学術情報チーム	平 田 三 麗	（育児休業）

○学内委員会委員等

教育研究評議会に置かれる委員会

大学改革委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	- - -		委員長
西村 俊夫	理事	- - -		
太田 恵雄	理事	- - -		
天野 和孝	学長指名	副学長		
廣瀬 裕一	学長指名	副学長		
林 泰成	学長指名	副学長		
石野 正彦	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
梅野 正信	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
大庭 重治	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
小埜 裕二	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
川崎 直哉	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
越 良子	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
小林 辰至	学長指名	教授	27. 4. 15～29. 3. 31	
直原 幹	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中山勘次郎	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
松沢 要一	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
松田 慎也	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
田上 隆	事務局次長	- - -		
加藤 誠雄	学長指名	特任教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 19 名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
西村 俊夫	理事	---		委員長
天野 和孝	副学長	---		
梅野 正信	学校教育学系長	---		
大庭 重治	臨床・健康教育学系長	---		
小埜 裕二	人文・社会教育学系長	---		
川崎 直哉	自然・生活教育学系長	---		
直原 幹	芸術・体育教育学系長	---		
中山勘次郎	学校教育専攻長	---		
松田 慎也	教科・領域教育専攻長	---		
松沢 要一	教育実践高度化専攻長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 11 名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
廣瀬 裕一	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
内藤 美加	情報メディア教育支援センター長	---		
梅野 正信	学校教育学系長	---		
大庭 重治	臨床・健康教育学系長	---		
小埜 裕二	人文・社会教育学系長	---		
川崎 直哉	自然・生活教育学系長	---		
直原 幹	芸術・体育教育学系長	---		
釜田 聡	学校臨床研究コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼児教育コース長	---		
河合 康	特別支援教育コース長	---		
大場 浩正	言語系コース長	---		
茨木 智志	社会系コース長	---		
小林 辰至	自然系コース長	---		
後藤 丹	芸術系コース長	---		
得丸 定子	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
大前 敦巳	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
北條 礼子	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 21 名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		議長
石野 正彦	教務委員会委員	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
伊藤 将和	教育実習委員会委員	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
尾崎 祐司	ファカルティ・ディベロップメント 委員会委員	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
祖父江 譲	経営企画課長	---		
細谷 敏明	教育支援課長	---		
梅野 正信	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中山勘次郎	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
城間 祥子	学長指名	講師	26. 4. 16～28. 3. 31	
笠原 芳隆	学長指名	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
野村眞木夫	学長指名	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
山縣耕太郎	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
斎藤 敏夫	学長指名	准教授	26. 4. 16～28. 3. 31	
稲田 結美	学長指名	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
東原 貴志	学長指名	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
光永伸一郎	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
瀬戸 健	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
早川 裕隆	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上18名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員学校現場研修委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	副学長	- - -		委員長
林 泰成	副学長	- - -		
石野 正彦	教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
土田 了輔	教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
内藤 美加	教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
平野 俊介	教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
松沢 要一	教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
清水 雅之	准教授	- - -	27. 4. 1～29. 3. 31	
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	- - -		
中島 秀晴	附属小学校副校長	- - -		
長谷川泰山	附属中学校副校長	- - -		

以上 11 名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
梅野 正信	学校教育学系長	---		
大庭 重治	臨床・健康教育学系長	---		
小埜 裕二	人文・社会教育学系長	---		
川崎 直哉	自然・生活教育学系	---		
直原 幹	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
越 良子	附属小学校長	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
太田 恵雄	事務局長	---		
宮下 敏恵	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
川村 知行	学校教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
河合 康	臨床・健康教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
川崎 直哉	自然・生活教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
阿部 靖子	芸術・体育教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
安藤 知子	学校教育専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
平野 俊介	教科・領域教育専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
志村 喬	附属中学校長	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
太田 恵雄	事務局長	---		
野村眞木夫	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 13 名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	— — —		委員長
佐藤多佳子	学校教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
近藤 孝司	臨床・健康教育学系	講師	27. 4. 1～28. 3. 31	
橋本 暁子	人文・社会教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
黎 子椰	自然・生活教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校副校長	— — —	27. 4. 1～29. 3. 31	
内藤 美加	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
安部 泰	学長指名	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 11 名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
西村 俊夫	副学長	---		委員長
布川 和彦	学校教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
高橋 知己	学校教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
増井 晃	臨床・健康教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
池田 吉史	臨床・健康教育学系	助教	26. 4. 1～28. 3. 31	
加藤 雅啓	人文・社会教育学系	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
橋本 暁子	人文・社会教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
稲田 結美	自然・生活教育学系	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
大森 康正	自然・生活教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
五十嵐史帆	芸術・体育教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
市川 真澄	芸術・体育教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
木村 吉彦	附属幼稚園長	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
村田 俊行	施設課長	---		
太田 恵雄	学長指名	理事	27. 4. 1～28. 3. 31	

以上14名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
大庭 重治	臨床・健康教育学系長	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
中山勘次郎	学校教育専攻長	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
早川 裕隆	教授	---	27. 4. 1～29. 3. 31	
野地 美幸	准教授	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
長谷川泰山	附属中学校副校長	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
池田 謙哉	事務系職員	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
秋山由美子	事務系職員	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
東條 俊明	総務課長	---		
吉澤 千夏	学長指名	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 11 名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
梅野 正信	人文・社会科学分野	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
池川 茂樹	自然科学分野	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
渡辺 伸樹	学外学識経験者	---	26. 10. 1～28. 3. 31	
関谷 伸一	学外学識経験者	---	27. 4. 1～28. 3. 31	
野村 憲一	学外学識経験者	---	27. 4. 1～28. 3. 31	
宮下 敏恵	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
増井 晃	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 11 名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
釜田 聡	学校臨床研究コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼児教育コース長	---		
河合 康	特別支援教育コース長	---		
大場 浩正	言語系コース長	---		
茨木 智志	社会系コース長	---		
小林 辰至	自然系コース長	---		
後藤 丹	芸術系コース長	---		
得丸 定子	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
川崎 直哉	連合研究科副研究科長	---		
高島 純一	財務課長	---		
大前 敦巳	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
内藤 美加	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
角谷 詩織	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
白神 敬介	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
八島 猛	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
下西善三郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
Brown, Ivan Bernard	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
畔上 直樹	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
宮川 健	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
川崎 直哉	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
野口 孝則	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
松浦 亮太	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
堀 健志	教育実践高度化専攻	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
細谷 敏明	教育支援課長	- - -		

以上 20 名

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
高橋 知己	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
池田 吉史	学校教育専攻 特別支援教育コース	助教	27. 4. 1～29. 3. 31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
松井千鶴子	教育実践高度化専攻	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	- - -		
中野 博幸	学校教育実践研究センター	准教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授		
加藤 誠雄	学校教育実践研究センター	特任教授		
菊地 雅樹	学校教育実践研究センター	特任准教授		
佐藤 人志	学校教育実践研究センター	特任准教授		
長沼 智之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
倉澤 秀典	学校教育実践研究センター	特任准教授		
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	- - -		
中島 秀晴	附属小学校副校長	- - -		
長谷川泰山	附属中学校副校長	- - -		
細谷 敏明	教育支援課長	- - -		
齋藤 一雄	学長指名	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
土田 了輔	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	委員長

以上 26 名

教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
越 良子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
河野麻沙美	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
近藤 孝司	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
白神 敬介	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
我妻 敏博	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	委員長
白岩 広行	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
定本 嘉郎	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
大森 康正	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
木村 吉彦	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	- - -		
岡崎 明弘	学生支援課長	- - -		

以上 19 名

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
廣瀬 裕一	副学長	---		委員長
石川 真	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
稲垣 応顕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
中平 一義	教科・領域教育専攻 社会系コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
小川 茂	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
洞谷亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
桐生 徹	教育実践高度化専攻	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
岡崎 明弘	学生支援課長	---		

以上16名

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
廣瀬 裕一	副学長	- - -		委員長
城間 祥子	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	27. 4. 1～28. 3. 31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
山本隆一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
笠原 芳隆	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
山縣耕太郎	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
林田 秀一	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	27. 4. 1～28. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
竹野 欽昭	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
早川 裕隆	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
林 泰成	教務委員会委員長	- - -		
黎 子椰	国際交流推進センター長	- - -		
佐藤 裕子	入試課長	- - -		
中山勘次郎	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
高橋 知己	学長指名	准教授	27. 4. 15～29. 3. 31	

以上 23 名

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
田島 弘司	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	26. 11. 1～28. 3. 31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
佐藤多佳子	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻 学校運営リーダーコース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 12 名

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
井上 久祥	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
森口 佑介	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
小埜 裕二	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
北條 礼子	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
中平 一義	教科・領域教育専攻 社会系コース	講師	27. 4. 1～28. 3. 31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
定本 嘉郎	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
赤坂 真二	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
細谷 敏明	教育支援課長	---		

以上 19 名

大学に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	研究倫理教育責任者（副学長）	---		委員長
廣瀬 裕一	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
内藤 美加	情報メディア教育支援センター長	---		
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		
黎 子椰	国際交流推進センター長	---		
木村 吉彦	附属幼稚園長	---		
越 良子	附属小学校長	---		
志村 喬	附属中学校長	---		
梅野 正信	学校教育学系長	---		
大庭 重治	臨床・健康教育学系長	---		
小埜 裕二	人文・社会教育学系長	---		
川崎 直哉	自然・生活教育学系長	---		
直原 幹	芸術・体育教育学系長	---		
太田 恵雄	事務局長	---		
渡辺 伸樹	学長指名	---	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 17 名

大学に置かれる委員会

動物実験委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	— — —	27. 4. 1～29. 3. 31	委員長
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
小川 茂	自然・生活教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
直原 幹	芸術・体育教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 7 名

大学に置かれる委員会

C S T 養成事業実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	- - -		
林 泰成	副学長	- - -		委員長
石野 正彦	学校教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
五百川 裕	学校教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
桐生 徹	学校教育学系	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
小林 辰至	自然・生活教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
稲田 結美	自然・生活教育学系	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	27. 4. 1～29. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校	副校長	27. 4. 1～29. 3. 31	
大塚 啓	附属中学校	教頭	27. 4. 1～29. 3. 31	
大野 雅人	新潟県教育委員会義務教育課長			
興治 文子	国立大学法人新潟大学教育学部准教授			
有本 秀雄	新潟市教育委員会教職員課長			
竹内 正浩	長岡市教育委員会学校教育課長			
澁谷 一男	新発田市教育委員会学校教育課長			
吉田 光夫	上越市教育委員会学校教育課長			
戸田 正弘	妙高市教育委員会こども教育課長			
渡邊 寿敏	糸魚川市教育委員会こども教育課長			
阿部 和雄	柏崎市教育委員会学校教育課長			
小野島恵次	新潟県立教育センター所長			
高地 啓衛	新潟市立総合教育センター所長			
笠原 徹	長岡市教育センター所長（新潟県地区理科教育センター連絡協議会会長）			
伊野 亘	国立妙高青少年自然の家所長			
田村 晴久	糸魚川市博物館館長			
白鳥 尚夫	上越清里星のふるさと館館長			

以上 26 名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
廣瀬 裕一	附属図書館長	---		委員長
中山勘次郎	学校教育専攻長	---		
松田 慎也	教科・領域教育専攻長	---		
松沢 要一	教育実践高度化専攻長	---		
佐藤 秀	学術情報課長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	— — —		委員長
中野 博幸	学校教育実践研究センター	准教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
土田 了輔	学校教育実践研究センター（兼務）	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授		
加藤 誠雄	学校教育実践研究センター	特任教授		
菊地 雅樹	学校教育実践研究センター	特任准教授		
佐藤 人志	学校教育実践研究センター	特任准教授		
長沼 智之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
倉澤 秀典	学校教育実践研究センター	特任准教授		
奥村 太一	学校教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
土谷 良巳	臨床・健康教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
矢部 直人	人文・社会教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
岩崎 浩	自然・生活教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 正人	芸術・体育教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校副校長	— — —		

以上 17 名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
大場 浩正	学生委員会委員長	---		
山田 智之	学校教育専攻	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
木村 吉彦	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
五十嵐透子	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
野口 孝則	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 8 名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
内藤 美加	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師		
松本 健義	学校教育学系	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
土谷 良巳	臨床・健康教育学系	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	
高本 條治	人文・社会教育学系	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
定本 嘉郎	自然・生活教育学系	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
安部 泰	芸術・体育教育学系	准教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 10 名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	教授		
山本隆一郎	心理教育相談室相談員	准教授		
近藤 孝司	心理教育相談室相談員	講師		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター	教授	27. 4. 1～28. 3. 31	

以上 7 名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター	教授		
我妻 敏博	特別支援教育実践研究センター	教授		
大庭 重治	特別支援教育実践研究センター	教授		
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授		
藤井 和子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
笠原 芳隆	特別支援教育実践研究センター	准教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	准教授		
八島 猛	特別支援教育実践研究センター	講師		
小林 優子	特別支援教育実践研究センター	講師		
池田 吉史	特別支援教育実践研究センター	助教		
加藤 哲文	心理教育相談室	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上 12 名

附属施設等に置かれる委員会

国際交流推進センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
黎 子椰	国際交流推進センター長	---		委員長
北條 礼子	国際交流推進センター	教授		
押木 秀樹	国際交流推進センター	教授		
田島 弘司	国際交流推進センター	准教授		
Brown, Ivan Bernard	国際交流推進センター	准教授		
原 瑞穂	国際交流推進センター	准教授		
辻野けんま	国際交流推進センター	准教授		
釜田 聡	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
河合 康	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
下里 俊行	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
中川 仁	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
高石 次郎	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	
直原 幹	学長指名	教授	27. 4. 1～29. 3. 31	

以上 13 名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
中山勘次郎	学校教育専攻長	---		
松田 慎也	教科・領域教育専攻長	---		
松沢 要一	教育実践高度化専攻長	---		
木村 吉彦	附属幼稚園長	---		
越 良子	附属小学校長	---		
志村 喬	附属中学校長	---		
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	---		
中島 秀晴	附属小学校副校長	---		
長谷川泰山	附属中学校副校長	---		
太田 恵雄	事務局長	---		

以上 11 名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	備 考	氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	備 考
佐藤 芳徳	学長	- - -	委員長	村中 智彦	学校教育臨床連合講座	准教授	
西村 俊夫	副学長	- - -		山本隆一郎	学校教育臨床連合講座	准教授	
立屋敷かおる	副学長	- - -		木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	教授	
天野 和孝	副学長	- - -		西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授	
廣瀬 裕一	副学長	- - -		早川 裕隆	先端課題実践開発連合講座	教授	
林 泰成	副学長	- - -		丸山 良平	先端課題実践開発連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	教授		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	教授	
梅野 正信	学校教育方法連合講座	教授		桐生 徹	先端課題実践開発連合講座	准教授	
大前 敦巳	学校教育方法連合講座	教授		佐藤多佳子	先端課題実践開発連合講座	准教授	
釜田 聡	学校教育方法連合講座	教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
井上 久祥	学校教育方法連合講座	准教授		下西善三郎	言語系教育連合講座	教授	
生澤 繁樹	学校教育方法連合講座	准教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
奥村 太一	学校教育方法連合講座	准教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
森口 佑介	学校教育方法連合講座	准教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		志村 喬	社会系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		畔上 直樹	社会系教育連合講座	准教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	教授		矢部 直人	社会系教育連合講座	准教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	備 考
中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	
小川 茂	自然系教育連合講座	教授	
斎藤 敏夫	自然系教育連合講座	准教授	
濤崎 智佳	自然系教育連合講座	准教授	
宮川 健	自然系教育連合講座	准教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	教授	
時得 紀子	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
伊藤 将和	芸術系教育連合講座	准教授	
松尾 大介	芸術系教育連合講座	准教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
川崎 直哉	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
光永伸一郎	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
松浦 亮太	生活・健康系教育連合講座	准教授	
東原 貴志	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上 7 3 名

企画・実施部門等の構成員名簿

平成27年4月1日現在

	名 称	室長等氏名	室員等氏名	事務担当	備 考
1	情報戦略室	天 野 和 孝	野村眞木夫 杉 浦 英 樹 河 合 康 志 村 喬 岩 崎 浩 小 川 茂 光永伸一郎 直 原 幹 高 石 次 郎 祖父江 讓 高 島 純 一 村 田 俊 行	経営企画課	
2	知的財産本部	天 野 和 孝	黎 子 椰 高 石 次 郎 大 森 康 正 岡 崎 明 弘 瀧 本 一 幸	研究連携課	
3	地域連携推進室	天 野 和 孝	廣 瀬 裕 一 石 野 正 彦 川 村 知 行 水 落 芳 明 古 閑 晶 子 山 本 隆 一 郎 山 縣 耕 太 郎 光 永 伸 一 郎 加 藤 誠 雄 齊 藤 昭 文 桐 山 敦 史	研究連携課	
4	総合学生支援室	廣 瀬 裕 一	林 泰 成 大 場 浩 正 土 田 了 輔 上 野 光 博 細 谷 敏 明 岡 崎 明 弘 伊 藤 孝 之	学生支援課	

一般通報事項

○役員会

■第94回役員会

期 日 平成27年 3 月 24 日（火）

議 題

- 1 平成27年度年度計画
- 2 情報戦略室の設置
- 3 業務方法書の変更及び関連学内規則等の制定
- 4 基本規則の一部改正
- 5 監事監査規則の一部改正
- 6 人事関係規則の改正等
- 7 事務組織規則の一部改正
- 8 目的積立金の執行計画
- 9 平成27年度学内予算
- 10 大学改革
- 11 第 3 期中期目標・中期計画（素案）

○経営協議会

■第46回経営協議会

期 日 平成27年 3 月 24 日（火）

議 題

- 1 学長選考会議委員の選出
- 2 平成27年度年度計画（経営に関する部分）
- 3 情報戦略室の設置
- 4 業務方法書の変更及び関連学内規則等の制定
- 5 経営協議会規則の一部改正
- 6 人事関係規則の改正等
- 7 事務組織規則等の一部改正
- 8 目的積立金の執行計画
- 9 平成27年度学内予算
- 10 平成27年度に係る自己点検・評価実施計画
- 11 大学改革
- 12 第 3 期中期目標・中期計画（素案）

○教育研究評議会

■第168回教育研究評議会

期 日 平成27年 3 月 11 日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 平成27年度年度計画（教育研究に関する部分）
- 3 情報戦略室の設置
- 4 情報システムの運用，利用等にかかる規程の制定
- 5 事務組織規則等の一部改正
- 6 平成27年度に係る自己点検・評価実施計画
- 7 大学改革
- 8 平成28年度からの大学院改革に伴う学生募集等
- 9 平成28年度入学者に係る専門職学位課程教育実践高度化専攻の教育課程，担当教員及び平成28年度からの学則の一部改正
- 10 第3期中期目標・中期計画（素案）

■第169回教育研究評議会

期 日 平成27年 3 月 20 日（金）

議 題

- 1 経営協議会委員の選考
- 2 学校教育法及び学校教育法施行規則の改正への対応
- 3 学則の一部改正
- 4 業務方法書の変更及び関連学内規則等の制定
- 5 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」への対応
- 6 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」への対応
- 7 人事関係規則の改正等
- 8 大学教員学校現場研修委員会の設置
- 9 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 10 第3期中期目標・中期計画（素案）

■第170回教育研究評議会

期 日 平成27年 4 月 1 日（水）

議 題

- 1 学長選考会議委員及び同予備委員の選出
- 2 平成27年度大学教員人事計画
- 3 大学改革

■第171回教育研究評議会

期 日 平成27年 4 月15日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱

○教授会

■第189回教授会

期 日 平成27年 3 月 4 日（水）

議 題

- 1 平成27年度学部一般入試（前期日程）合格者の判定
- 2 学籍異動
- 3 平成26年度学部卒業判定
- 4 平成26年度大学院修了判定
- 5 教員人事

■第190回教授会

期 日 平成27年 3 月16日（月）

議 題

- 1 平成27年度大学院入試（後期募集）合格者の判定
- 2 平成27年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 3 平成27年度長期履修学生の判定

■第191回教授会

期 日 平成27年 3 月20日（金）

議 題

- 1 平成27年度学部一般入試（後期日程）合格者の判定
- 2 平成27年度学部一般入試（後期日程）追加合格者の決定
- 3 平成27年度欠員補充第2次学生募集
- 4 学籍異動
- 5 平成27年度以降の教授会の審議事項

■第192回教授会

期 日 平成27年 4 月22日（水）

議 題

なし ※報告事項のみであった。

○平成26年度上越教育大学国際交流のつどい

日頃から本学留学生にご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的として、平成27年3月9日（月）第1食堂において、平成26年度上越教育大学国際交流のつどいを実施した。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブに関係する方々及び地域の方々からご出席いただき、本学の国際交流の現状及び留学生の現状と支援について説明した後、留学生の代表が地域住民との米に関わる交流など、この1年間の活動について発表した。また、音楽コースの教員研修留学生と教員が母国フィリピンの歌を含めた2曲を披露し、懇談会をととして地域の方々との親睦を深めた。



○第1回国立大学法人上越教育大学教育諮問会議

平成27年3月10日（火）、第1回国立大学法人上越教育大学教育諮問会議を開催した。

この諮問会議は、地元及び近県教育委員会の幹部職員や公立の連携協力校の長、大学運営・文部科学行政等に精通した有識者、総勢11名で構成し、学部や大学院のカリキュラムの検証、養成する人材像、現職教員の再教育の在り方などについて意見交換を行い、教育への社会の要請を受け止めその質の向上を図るため、平成26年度新たに設置されたものである。



当日は、佐藤学長から、大学院改革を実行しつつ、現職教員の再教育を行う中核的な機関として、また、学士課程から連合博士課程までを持つ総合的な教員養成大学として、更なる機能強化に関して諮問があった後、活発な意見交換が行われた。

○イメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」着ぐるみのお披露目

本学のブランドの確立及びPRを目的として制定したイメージキャラクターについて、平成26年度に着ぐるみを製作し、3月14日（土）、15日（日）に開催された北陸新幹線開業に伴う上越妙高駅開業記念イベントに参加し、広くPRを行った。

また、イベント当日に行われた「ご当地キャラ大集合」にも参加し、上越地域のPRにも努めた。



○上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式

平成27年3月18日（水）長岡市教育センターを会場に「上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式」を実施した。

本式典では、CST養成プログラムを受講した新潟県教育委員会派遣の現職教員大学院生6名について、CST養成プログラム修了を認め、CST認定証を授与するとともに、2年間の研修成果の発表を行った。

今後、CST認定者には、新潟県内小・中学校の理科教育における中核的教員としての活躍が期待される。



○退職者永年勤続表彰状授与式

平成27年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者に対して、3月20日（金）大会議室において退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、次の被表彰者に表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

中島	忍	附属学校事務室長
野崎	薫	附属学校事務室附属学校チーム主査
新井	まり子	研究連携室国際交流チーム主査

○哈爾濱師範大学・内蒙古民族大学の招へい

本学交流協定校の哈爾濱師範大学及び内蒙古民族大学の教職員を招へいし、本学の施設及び上越市内等の視察をするとともに留学生の交流に関する打合せを行った。

訪問団及び滞在日程は以下のとおりである。

訪問団 哈爾濱師範大学 3名

内蒙古民族大学 2名

日程

平成27年3月23日（月） 来日

3月24日（火） 来学

打合せ、施設見学、

留学生との交流

3月25日（水）・26日（木）

本学及び上越市内等視察

3月27日（金） 帰国



○平成27年度附属図書館館内ツアー

新入生に、図書館の施設・設備を案内するとともに自動貸出装置等の利用方法を説明した。

期 日 平成27年 4 月 9 日（木）～30 日（木）

各日 2 回20分

場 所 附属図書館

参加人数 合計53人

○「上越教育大学出版会」最初の書籍刊行に伴う記者発表

平成25年 4 月に設置した上越教育大学出版会から最初の書籍『教育管理職のための法常識講座～判決に学ぶ「いじめ」「体罰」「ネット」「虐待」「学級崩壊」への対応～』刊行に伴い、4 月 23 日（木）に記者発表を実施し、6 社におよぶ報道陣が取材に訪れた。

記者発表は天野副学長及び著者の梅野正信教授から、上越教育大学出版会及び書籍の説明が行われた。



（記者発表後、報道機関の写真撮影に応じる梅野教授）

○公開講座・免許法認定公開講座

平成27年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座は、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
はじめての短歌 ～実作短歌入門～	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。でも、そんなことはありません。講座では、初回到歌作りの基本的な考え方をお話しした後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視界が開かれることでしょう。	人文・社会 教育学系 松田 慎也 教 授	5月12日(火) 5月19日(火) 5月26日(火) 6月2日(火) 6月9日(火) 6月16日(火) 6月23日(火) 6月30日(火) 7月7日(火) 7月14日(火) 全10回	19:00～20:30 (1時間30分) 計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 人文棟2階 213教室	市民一般 (入門) 10人 最小実施 人数1人
「声」のレッスン ～日本語の音声表現・基礎編～	自分の声で表現しませんか？日本語のさまざまな音声表現について、日本語研究の初歩的な知見を取り入れたレッスンをを行います。毎回、基礎的なレッスンのあと、アナウンス、ナレーション、朗読、読み聞かせ、群読、朗読劇、ラジオドラマなどのジャンルに挑戦してもらいます。まったく未経験の初心者の方でも参加OKです。朗読ボランティアへの橋渡し役や、自作録音番組をネット配信するためのガイド役も務めます。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	5月16日(土) 5月23日(土) 5月30日(土) 6月6日(土) 6月13日(土) 6月20日(土) 全6回	14:10～15:50 (1時間40分) 計10時間	上越市立高田 図書館 第1会議室 ※ 5月23日(土) 6月13日(土) は、ミューゼ雪 小町(あすと ぴあ高田5 階)	中学生 高校生 市民一般 (入門) 現職教員 12人 最小実施 人数5人
体操教室	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	芸術・体育 教育学系 周東 和好 准教授	5月17日(日) 5月24日(日) 6月7日(日) 6月14日(日) 6月21日(日) 全5回	14:00～16:00 (2時間) 計10時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 小体育館2階 トレーニング室	小学生 20人 最小実施 人数1人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
健康で幸せな人生のための理論と実践 (笑いヨガを中心に)	人は誰しも健康で幸せな人生を歩みたいと望んでいますが、「人生楽ありや苦もあるさ」の歌があるように人生には様々な困難が待ち受けています。困難な状況の中でどう生きれば、人はより健康で幸せな人生を実現できるのでしょうか？近年、人が健康で幸せに生きるための科学的な方法が数多く開発されています。そうした研究の理論を紹介しつつ、参加者の皆様と一緒に「笑いヨガ」などの実践を行いたいと思います。	学校教育学系 田島 弘司 准教授	6月3日(水) 6月10日(水) 6月17日(水) 6月24日(水) 7月1日(水) 7月8日(水) 全6回	18:00～19:30 (1時間30分) 計9時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 人文棟1階 113教室	市民一般 (入門) 30人 最小実施 人数10人
はじめての陶芸	ひも作りと板作り技法でマグカップや皿を成形し、釉薬を掛けて焼成します。	芸術・体育 教育学系 高石 次郎 教 授	6月14日(日) 6月28日(日) 7月5日(日) 全3回	6月14日(日) 10:00～15:00 (4時間, 昼食休憩1時間) 6月28日(日) 13:00～15:00 (2時間) 7月5日(日) 10:00～11:00 (1時間) 計7時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 美術棟1階 陶芸室	市民一般 (初級) 15人 最小実施 人数10人
少年少女スポーツ教室Ⅰ (山屋敷サッカークラブ低学年)	小学校4年生以下の子どものためのスポーツ教室です。毎回、サッカーのテクニックの練習や参加者同士で試合を行います。また、ティーボール、ドッジボール、ホッケーなどのサッカー以外のスポーツ体験を通して、投げる、捕る、打つ、走る、止まる、方向を変えるなどスポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。	芸術・体育 教育学系 榎原 潔 准教授	7月26日(日) 7月30日(木) 8月1日(土) 8月18日(火) 8月19日(水) 8月21日(金) 全6回	9:00～10:30 (1時間30分) 計9時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 体育館	小学生 (1～4年生) 40人 最小実施 人数8人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
Scratchによるプログラミング入門講座	ゲームもエアコンも、みんなプログラミングされています。でも、プログラミングってなんだろう？どうすれば作れるのだろう？そんな疑問について、簡単な「ゲーム」などを制作しながら楽しく学びましょう。もちろん、プログラミングの経験がなくても楽しめます。	自然・生活 教育学系 大森 康正 准教授	7月30日（木） 7月31日（金） 全2回	13:00～17:00 （4時間） 計8時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス） 教育情報訓練室1	小学生 （4～6年生） 5人 最小実施 人数2人
木琴をつくらう	木材には軽くて強い性質のほか、音をよく伝える性質があります。そのため、木材を利用したさまざまな楽器がつくられています。この講座では、木材の性質を学び、のこぎりで音板の長さを調節し、絵の具で音板をデザインし、世界に一つだけの木琴をつくりま	自然・生活 教育学系 東原 貴志 准教授	8月6日（木） 8月7日（金） 全2回	9:30～11:30 （2時間） 計4時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス） 第2講義棟 003共用講義 演習室	小学生 （3～6年生） 20人 最小実施 人数1人
社会体験としてのユーロ（ドイツ）ボードゲーム —楽しみながら異文化・社会を学ぶ—	日本でゲームといえば、まずテレビゲームが想起されますが、ヨーロッパ（特にドイツ）では、1990年頃からボードゲーム・カードゲームが発達し、家族や友人などがテーブルを囲んで直接コミュニケーションをとりながらゲームを楽しむ文化が定着してきています。日本でも、人生ゲームやモノポリー・ウノなどは知られていますが、それらのゲームとは異なる特徴をもつドイツのボードゲーム文化はまだあまり知られていない状況にあります。 本講座では、実際にいくつかのボードゲームをプレイして、楽しみながら異文化の世界を体験します。 <u>教材として、ボードゲームをひとつお持ち帰りいただき、家族などと“復習”してもらうことができます。</u>	人文・社会 教育学系 小島 伸之 准教授	8月8日（土） 全1回	10:00～17:00 （6時間、昼 食休憩1時間） 計6時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス） 人文棟1階 107教室	中学生 高校生 市民一般 （入門） 16人 最小実施 人数4人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
木彫を楽しむ	日本では、太古から木に親しむ文化を育み、木を用いて様々な造形を試みてきました。自然の一部である木と対話しながら、コツコツと刻み、新しい命ある形を産み出していく楽しさは、他には得難い喜びです。 木彫は素材の扱い、刃物の手入れなどの技術が必要ですが、本講座では、基礎的な内容を身につけながら、木彫を楽しんでいきます。	芸術・体育 教育学系 松尾 大介 准教授	8月29日（土） 8月30日（日） 全2回	9:00～16:00 （6時間、昼 食休憩1時間） 計12時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス） 美術棟1階 106金彫室	中学生 高校生 市民一般 （入門） 現職教員 6人 最小実施 人数3人
声と身体 の ワークショ ップ ～日本語を 声で表現す る手法～	「声」は「身体」から発せられます。さまざまな「声」を駆使するためには、さまざまな「身体」の使い方との同期が大切です。この講座では、自分自身の多様な「声」を調整するために、どのように己れの「身体」を制御すればよいかを実践的に学んでいきます。 自由な声を出すための呼吸法から始まり、環境や場面に合わせた声量や声質の調節のしかた、感情や論理を「声」に乗せるための技法を、演劇的手法も取り入れながら楽しく学びます。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	9月5日（土） 9月12日（土） 9月19日（土） 9月26日（土） 10月3日（土） 10月10日（土） 全6回	14:10～15:50 （1時間40分） 計10時間	上越市立高田 図書館 第1会議室	中学生 高校生 市民一般 （入門） 現職教員 12人 最小実施 人数5人
遺伝の仕組み	カエルの子はカエルと言いますが、それは当たり前のこと、別に不思議に思われないかもしれませんね。でも、当たり前のことがどうして起こるのか、その仕組みである遺伝現象について学んでみませんか。中学校で学ぶメンデルの遺伝の法則から、親から子に伝わる遺伝子の本体「DNA」の性質と働きまで、簡単な実験や、最近の関連事例紹介（DNA鑑定、PCR検査等）も行って平易に解説します。	学校教育 学系 五百川 裕 教 授	10月6日（火） 10月13日（火） 10月19日（月） 10月26日（月） 11月9日（月） 11月16日（月） 全6回	18:00～20:00 （2時間） 計12時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス） 自然棟4階 植物分類系統 実験室	高校生 市民一般 （初級） 現職教員 5人 最小実施 人数3人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
理科野外観察 指導実習A 海の楽校 ※	実習の場を海とし、海に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、海における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	渡邊 憲一 非常勤講師	6月27日（土） 6月28日（日） 2日間	9:00～17:00	新潟県立海洋 高等学校 栽培漁業臨海 実習棟	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習B 森の楽校 ※	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教 授	9月5日（土） 9月6日（日） 2日間	9:00～17:00	志賀高原（長 野県下高井郡 山ノ内町）	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習C 川の楽校 ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教 授	8月8日（土） 8月9日（日） 2日間	9:00～17:00	正善寺川	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ミクロの世界 ※	池や沼などでみられる浮遊生物（プランクトン）について、そのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導します。また、走査電子顕微鏡、透過電子顕微鏡等を実際に操作しながら、プランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行います。	自然・生活 教育学系 小川 茂 教 授	8月1日（土） 8月2日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学 （山屋敷キャンパス）	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
理科野外観察 指導実習E 身近な植物 ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、里山の雑木林や湿地を観察場所とした実習を通して学びます。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざします。	自然・生活 教育学系 谷 友和 講 師	8月25日（火） 8月26日（水） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学 （山屋敷キャンパス）及び 近隣の山野	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F 化石を読む ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められています。本実習では、地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討します。	天野 和孝 副学長	8月27日（木） 8月28日（金） 2日間	9:00～17:00	愛の風～滝 寺、金谷山、 平山～儀明、 高住～西横山	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習G 火山とマグマ ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察を行います。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を修得し、また火山災害についての安全対策を現地で実際に学びます。	大場 孝信 非常勤講師	8月30日（日） 8月31日（月） 2日間	9:00～17:00	妙高市・糸魚 川市	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I 星の一日 ※	1泊2日の日程で星の観測実習を行います。小学校3年、4年、6年の理科及び中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動及び星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら学びます。	自然・生活 教育学系 濤崎 智佳 准教授	10月10日（土） 10月11日（日） 2日間	9:00～17:00	星のふるさと 館 （新潟県上越 市清里区）	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人

講座名	講 座 概 要	講 師	実施期間	開設時間	実施場所	定 員
理科野外観察 指導実習 J 自然の見方 ※	実習の場を学内とし、身近な自然に見られる動植物の形態や生活史を食物連鎖の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得します。さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学びます。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教 授	7月18日（土） 7月19日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学 （山屋敷キャンパス）	市民一般 （初級～中級） 現職教員 10人

※理科野外観察指導実習Hは、平成27年度は休講

○海外渡航

	職 名	氏 名	渡航目的国	用 務	期 間	備 考
1	准教授	尾崎 祐司	ドイツ	①サバティカル申請時の受け入れ先候補の教員との研究打合せ ②ドイツでの中高校生を対象とした音楽の指導法についての動向調査を行うため	平成27年3月4日～ 平成27年3月9日	外国出張
2	教授	五十嵐透子	アメリカ	海外教育(研究)(実践)研究Bの引率のため	平成27年3月4日～ 平成27年3月17日	外国出張
3	准教授	辻野けんま	アメリカ	海外教育(研究)(実践)研究Bの引率のため	平成27年3月4日～ 平成27年3月17日	外国出張
4	准教授	周東 和好	台湾	日本コーチング学会第26回大会への出席および研究発表(3/6-8), ならびに台湾・国立嘉義大学附属小学校での交流授業の実施ならびに故宮博物院等での文化研修(3/9-14)に参加する院生らの引率および指導のため	平成27年3月6日～ 平成27年3月13日	外国出張
5	准教授	伊藤 将和	ネパール	トリブバン大学教育学部の視察および セミ生の海外での活動の視察	平成27年3月7日～ 平成27年3月15日	外国出張
6	教授	北條 礼子	台湾	小学校英語授業視察	平成27年3月8日～ 平成27年3月13日	外国出張
7	教授	土田 了輔	アメリカ	SHAPE America Nation Convention出席のため	平成27年3月17日～ 平成27年3月22日	外国出張
8	教授	加藤 雅啓	イギリス	キングズカレッジで開催されるLGBT Representationsのセミナーに参加及び訪問大学において分裂文及び焦点化構文の研究資料の収集を行う	平成27年3月17日～ 平成27年3月25日	外国出張
9	准教授	森口 佑介	アメリカ	the Biennial Meeting of Society for Research in Child Developmentに参加及び発表のため	平成27年3月18日～ 平成27年3月23日	外国出張
10	教授	下里 俊行	ロシア	ロシア保守思想に関する資料調査・収集	平成27年3月21日～ 平成27年4月2日	外国出張
11	教授	洞谷亜里佐	台湾	①協定校である新竹教育大学にて、国際交流展の打ち合わせを行う。 ②毓繡美術館の学芸員や東海大学の美術教員と今後の研究協力について会合する	平成27年3月31日～ 平成27年4月4日	外国出張
12	教授	北條 礼子	台湾	異文化理解教育関連の資料収集	平成27年3月31日～ 平成27年4月4日	外国出張
13	講師	長谷川正規	台湾	テューバ独奏にて台湾・実践大学吹奏楽団と共演のため (E. グレソン作曲 テューバ協奏曲)	平成27年4月11日～ 平成27年4月17日	海外研修

関係資料

平成27年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

()内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道																
青森県																
岩手県					(2)	2	(1)	1					(2)	2	(1)	1
宮城県	(2)	3	(2)	3		3	2	2					(2)	6	(2)	5
秋田県	(3)	3	(3)	3	(1)	1	(1)	1					(4)	4	(3)	3
山形県	(4)	4	(4)	4	(2)	2	(2)	2	(4)	7	(2)	5	(2)	2	(2)	2
福島県	(5)	8	(5)	8	(2)	2	(2)	2	(9)	16	(4)	6	(3)	3	(3)	3
茨城県	(3)	4	(3)	4		1		1	(3)	4	(2)	3				
栃木県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(4)	12	(1)	6	(1)	6	(1)	5
群馬県	(7)	7	(7)	7	(4)	4	(4)	4	(23)	41	(12)	22	(4)	9	(4)	9
埼玉県						6	3	1						6	3	1
千葉県	(1)	1	(1)	1					(2)	5	(2)	3	1	1		
東京都	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(2)	6	2	2	1			
神奈川県						1	1							1	1	
新潟県	(28)	42	(28)	41	(5)	10	(5)	10	(107)	212	(61)	120	(14)	38	(9)	33
富山県	(6)	7	(6)	7	(3)	3	(3)	3	(13)	26	(7)	18	(2)	7	(1)	5
石川県	(5)	8	(5)	7	(2)	4	(2)	4	(32)	54	(16)	32	(12)	18	(12)	18
福井県	(4)	6	(4)	6	(1)	3	(1)	3	(7)	12	(3)	3	(1)	1	(1)	1
山梨県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	10	5	1	1			
長野県	(13)	26	(12)	24	(7)	12	(7)	12	(45)	94	(19)	47	(8)	26	(8)	21
岐阜県						2	3							(2)	3	
静岡県	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(11)	18	(3)	5	(3)	5	(3)	4
愛知県	(2)	4	(2)	3	(1)	1	(1)	1	(6)	21	(3)	10	(1)	6	(1)	4
三重県						1								1		
滋賀県						(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	2			
京都府																
大阪府						2	2	1	1					2	2	1
兵庫県	(2)	2	(2)	2	(1)	1	(1)	1						(2)	2	(2)
奈良県						(2)	2	(1)	1					(2)	2	(1)
和歌山県																
鳥取県						(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1			
島根県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1						(1)	1	(1)
岡山県																
広島県						1								1		
山口県																
徳島県																
香川県																
愛媛県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1						(1)	1	(1)
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県																
熊本県																
大分県																
宮崎県																
鹿児島県						1	1	1	1					1	1	1
沖縄県						(2)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	1			
計	(91)	132	(90)	126	(35)	50	(35)	50	(280)	566	(140)	302	(52)	134	(46)	117
	応募者／合格者 2.6 倍				男 30.0% 女 70.0%				応募者／合格者 4.2 倍				男 60.7% 女 39.3%			
													応募者／合格者 3.8 倍			
													男 51.5% 女 48.5%			

備考欄

○平成27年度 大学院学校教育研究科入学試験状況

■ 課程・専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:26.8.22)					中期募集 (試験日:26.11.22)					合計(前期・中期募集)					後期募集 (試験日:27.3.3)					合 計				
		募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学 定員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学 定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	96	(12) 92	(12) 90	(12) 73	(11) 54	59	(7) 49	(7) 48	(6) 32	(6) 31	120	(19) 141	(19) 138	(18) 105	(17) 85	41	25	23	17	15	120	(19) 166	(19) 161	(18) 122	(17) 100
	学校臨床研究コース	54	(7) 29	(7) 29	(8) 30	(7) 27	40	(5) 20	(5) 20	(6) 21	(6) 20	[70]	(12) 49	(12) 49	(14) 51	(13) 47	27	10	9	10	9	[70]	(12) 59	(12) 58	(14) 61	(13) 56
	臨床心理学コース	18	(4) 49	(4) 48	(3) 30	(3) 16	若干人	(2) 20	(2) 19		2	[18]	(6) 69	(6) 67	(3) 32	(3) 18	若干人	6	6			[18]	(6) 75	(6) 73	(3) 32	(3) 18
	幼児教育コース	5	1	1	1	1	6	1	1	1	1	[7]	2	2	2	2	5	1	1	1	1	[7]	3	3	3	3
	特別支援教育コース	19	(1) 13	(1) 12	(1) 12	(1) 10	13	8	8	8	8	[25]	(1) 21	(1) 20	(1) 20	(1) 18	9	8	7	6	5	[25]	(1) 29	(1) 27	(1) 26	(1) 23
	教科・領域教育専攻	104	(16) 67	(16) 65	(16) 61	(16) 50	69	(6) 43	(6) 38	(6) 37	(6) 34	130	(22) 110	(22) 103	(22) 98	(22) 84	48	32	30	26	19	130	(22) 142	(22) 133	(22) 124	(22) 103
	言語系コース	20	(4) 20	(4) 18	(4) 17	(4) 13	8	(3) 9	(3) 7	(3) 8	(3) 7	[25]	(7) 29	(7) 25	(7) 25	(7) 20	5	10	10	8	7	[25]	(7) 39	(7) 35	(7) 33	(7) 27
	社会系コース	18	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(2) 3	17	(2) 9	(2) 7	(2) 6	(2) 5	[23]	(2) 16	(2) 14	(2) 12	(2) 8	13	8	7	6	6	[23]	(2) 24	(2) 21	(2) 18	(2) 14
	自然系コース	22	(6) 14	(6) 14	(6) 12	(6) 11	15	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(2) 6	[27]	(8) 21	(8) 21	(8) 18	(8) 17	11	6	6	5	1	[27]	(8) 27	(8) 27	(8) 23	(8) 18
	芸術系コース	22	(2) 11	(2) 11	(2) 11	(2) 9	16	(2) 5	(2) 4	(2) 4	(2) 4	[27]	(2) 16	(2) 15	(2) 15	(2) 13	14	4	4	4	3	[27]	(2) 20	(2) 19	(2) 19	(2) 16
	生活・健康系コース	22	(2) 15	(2) 15	(2) 15	(2) 14	13	(1) 13	(1) 13	(1) 13	(1) 12	[28]	(3) 28	(3) 28	(3) 28	(3) 26	5	4	3	3	2	[28]	(3) 32	(3) 31	(3) 31	(3) 28
	小 計	200	(28) 159	(28) 155	(28) 134	(27) 104	128	(13) 92	(13) 86	(12) 69	(12) 65	250	(41) 251	(41) 241	(40) 203	(39) 169	89	57	53	43	34	250	(41) 308	(41) 294	(40) 246	(39) 203
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	40	(25) 48	(24) 47	(24) 46	(24) 42	35	(3) 20	(3) 18	(3) 18	(3) 17	50	(28) 68	(27) 65	(27) 64	(27) 59	25	(2) 7	(2) 5	(2) 5	(2) 4	50	(30) 75	(29) 70	(29) 69	(29) 63
	教育実践リーダーコース	24	(20) 43	(19) 42	(19) 41	(19) 37	20	(3) 20	(3) 18	(3) 18	(3) 17	[30]	(23) 63	(22) 60	(22) 59	(22) 54	10	(1) 6	(1) 4	(1) 4	(1) 3	[30]	(24) 69	(23) 64	(23) 63	(23) 57
	学校運営リーダーコース	16	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	15					[20]	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	15	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	[20]	(6) 6	(6) 6	(6) 6	(6) 6
	小 計	40	(25) 48	(24) 47	(24) 46	(24) 42	35	(3) 20	(3) 18	(3) 18	(3) 17	50	(28) 68	(27) 65	(27) 64	(27) 59	25	(2) 7	(2) 5	(2) 5	(2) 4	50	(30) 75	(29) 70	(29) 69	(29) 63
合 計		240	(53) 207	(52) 202	(52) 180	(51) 146	163	(16) 112	(16) 104	(15) 87	(15) 82	300	(69) 319	(68) 306	(67) 267	(66) 228	114	(2) 64	(2) 58	(2) 48	(2) 38	300	(71) 383	(70) 364	(69) 315	(68) 266

- ※1 入学定員欄の[]内は、標準学生数を示す。
 2 ()内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。
 3 応募者及び受験者は、第1志望の人数を示している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				合 計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	5	5	5	5	2	2	1	1	3	3	3	1	10	10	9	7
青森県	1	1	1										1	1	1	
岩手県	(1) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 2	1	1	1	1					(1) 4	(1) 3	(1) 3	(1) 3
宮城県	2	2	2		(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 5	1	1	1	1	(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 6
秋田県					2	2	2	2					2	2	2	2
山形県	1	1	1	1	3	3	2	2	1				5	4	3	3
福島県	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	1	1	1	1					(2) 3	(2) 3	(2) 3	(2) 3
茨城県	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	5	5	4	4
栃木県	2	2	2						1	1	1		3	3	3	
群馬県	2	2	1	1	(5) 7	(5) 7	(5) 6	(5) 6	2	2	2	2	(5) 11	(5) 11	(5) 9	(5) 9
埼玉県	(1) 11	(1) 10	(1) 8	(1) 7	2	2	1	1	1	1	1	1	(1) 14	(1) 13	(1) 10	(1) 9
千葉県	1	1			(1) 5	(1) 5	(1) 5	(1) 5	5	5	4	4	(1) 11	(1) 11	(1) 9	(1) 9
東京都	(1) 41	(1) 39	(1) 33	(1) 26	(1) 23	(1) 19	15	14	14	12	11	9	(2) 78	(2) 70	(1) 59	(1) 49
神奈川県	(2) 12	(2) 12	(2) 8	(2) 7	7	7	7	6	4	4	4	3	(2) 23	(2) 23	(2) 19	(2) 16
新潟県	(38) 51	(37) 50	(37) 47	(37) 46	(5) 18	(5) 18	(5) 16	(5) 15	(1) 8	(1) 8	(1) 7	(1) 6	(44) 77	(43) 76	(43) 70	(43) 67
富山県	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 4	1	1	1	1	1	1	1	1	(2) 8	(2) 8	(2) 8	(2) 6
石川県	14	14	14	11	2	2	2	2	2	2	1		18	18	17	13
福井県					1	1	1		2	2	1		3	3	2	
山梨県	5	5	4	4	3	2	2	2	1				9	7	6	6
長野県	(3) 18	(3) 18	(3) 16	(2) 9	6	6	2	2	2	2	2	2	(3) 26	(3) 26	(3) 20	(2) 13
岐阜県	1	1	1		2	2	1	1	1	1			4	4	2	1
静岡県	(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 5	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(3) 10	(3) 10	(3) 9	(3) 8
愛知県	8	8	8	5	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(1) 10	(1) 10	(1) 10	(1) 7
三重県	1	1			1	1			1	1			3	3		
滋賀県					1	1							1	1		
京都府	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	1		10	8	7	6
大阪府	2	2	1	1	3	3	3	2	1	1	1	1	6	6	5	4
兵庫県	1	1	1	1	1				1	1	1	1	3	2	2	2
奈良県																
和歌山県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1									(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1
鳥取県																
島根県																
岡山県																
広島県																
山口県																
徳島県	1	1	1		1	1	1	1					2	2	2	1
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
佐賀県																
長崎県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
熊本県																
大分県	1	1	1	1					1				2	1	1	1
宮崎県																
鹿児島県					1								1			
沖縄県									1	1	1	1	1	1	1	1
外国	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	6	6	6	6
計	(53) 207	(52) 202	(52) 180	(51) 146	(16) 112	(16) 104	(15) 87	(15) 82	(2) 64	(2) 58	(2) 48	(2) 38	(71) 383	(70) 364	(69) 315	(68) 266

注) 1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主 要 日 誌

■大学

月 日	事 項
3月2日 (月)	第4回地域連携推進室会議 第2回保健管理センター運営委員会 第53回カリキュラム企画運営会議
3月3日 (火)	平成27年度大学院入試 (後期募集)
3月4日 (水)	第189回教授会 第14回入学試験委員会 第33回評価支援室会議 第11回衛生委員会 第71回大学改革委員会
3月5日 (木)	平成26年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修 (～6日 (金)) 第4回男女共同参画推進委員会 第17回研究倫理審査委員会 第4回教育職員免許取得プログラム支援室会議 第3回学校教育実践研究センター運営委員会
3月6日 (金)	平成27年度学部一般入試 (前期日程) 合格者発表 第4回就職委員会 第7回教育実習委員会
3月9日 (月)	平成26年度国際交流のつどい 第2回第3期中期目標・中期計画検討特別委員会 第3回研究活動の不正行為対策委員会
3月10日 (火)	第1回国立大学法人上越教育大学教育諮問会議 第8回国際交流推進センター運営委員会 第2回CST養成事業実施委員会 第3回国立大学法人上越教育大学出版会出版企画委員会
3月11日 (水)	第168回教育研究評議会 第72回大学改革委員会
3月12日 (木)	平成27年度学部一般入試 (後期日程)
3月13日 (金)	第15回入学試験委員会 第2回大学教員学校現場研修準備委員会 第8回学生委員会 第14回教務委員会
3月16日 (月)	第190回教授会
3月17日 (火)	第1回上越教育大学第一種学資金返還免除候補者選考委員会
3月18日 (水)	平成27年度大学院入試 (後期募集) 合格者発表 平成26年度CST認定証・CST養成プログラム修了認定証授与式
3月19日 (木)	平成26年度学位記授与式 平成26年度卒業証書・学位記授与式 学生表彰式
3月20日 (金)	第4回セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会 第169回教育研究評議会 第191回教授会 退職者永年勤続表彰状授与式 第16回入学試験委員会 第40回連合大学院委員会
3月21日 (土)	平成27年度学部一般入試 (後期日程) 合格者発表
3月24日 (火)	第94回役員会 第46回経営協議会 哈爾濱師範大学・内蒙古民族大学の招へい (～27日 (金))
3月25日 (水)	第4回ファカルティ・ディベロップメント委員会
3月26日 (木)	第54回カリキュラム企画運営会議
4月1日 (水)	第170回教育研究評議会
4月3日 (金)	第1回教育実習委員会
4月6日 (月)	平成27年度新任職員研修
4月7日 (火)	平成27年度入学式 平成27年度新入生オリエンテーション (～8日 (水))

月 日	事 項
4月8日 (水)	第1回衛生委員会
4月9日 (木)	平成27年度附属図書館館内ツアー (～30日 (木) ※平日のみ)
	第1回研究倫理審査委員会
	第1回教員免許状更新講習実施委員会
4月10日 (金)	新入生ノートパソコン準備講習会 (～22日 (水) ※水曜日及び金曜日のみ)
4月13日 (月)	第1回教育実習連絡会
4月15日 (水)	第171回教育研究評議会
	情報セキュリティ講演会
	第73回大学改革委員会
	第1回教育実習協力校 (園) 会議
4月16日 (木)	第1回教務委員会
4月17日 (金)	第1回辰野千壽教育賞実行委員会
	第55回カリキュラム企画運営会議
	第1回学校ボランティア支援室会議
4月20日 (月)	第1回学術研究委員会
	第33回情報・広報委員会
4月21日 (火)	第1回国際交流推進センター運営委員会
4月22日 (水)	第192回教授会
	第1回入学試験委員会
	第1回学生委員会
	平成27年度ボランティア体験連絡会
	第41回連合大学院委員会
4月23日 (木)	第1回施設安全・環境委員会
	第1回学校教育実践研究センター運営委員会
4月24日 (金)	平成27年度新入生合宿研修 (～25日 (土))
	第1回情報戦略室会議
4月28日 (火)	第1回配分予算検討委員会

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月3日 (火)	保育参観日
	P T A総会
3月17日 (火)	第21回修了証書授与式
3月19日 (木)	第3学期終業式
3月26日 (木)	離任式
4月7日 (火)	第1学期始業式
	新任式
4月8日 (水)	第24回入園式
4月16日 (木)	やま組バス遠足
4月22日 (水)	P T A総会・後援会
4月23日 (木)	第1回園解放デー
4月27日 (月)	附属小学校1年生との交流活動
4月30日 (木)	附属小学校1年生との交流活動

■附属小学校

月 日	事 項
3月5日 (木)	第2回学校評議員会
3月17日 (火)	第3学期終業式
3月18日 (水)	第34回卒業証書授与式
3月19日 (木)	学年末休業 (～31日 (火))
3月26日 (木)	離任式
4月1日 (水)	開校記念日
4月8日 (水)	第35回入学式
	第1学期始業式
	新任式
4月24日 (金)	避難訓練

■附属中学校

月 日	事 項
3月4日 (水)	第2回学校評議員会
3月7日 (土)	第34回卒業式
3月10日 (火)	2年修学旅行(～13日(金))
3月24日 (火)	第3学期終業式
3月25日 (水)	離任式
4月1日 (水)	開校記念日
4月7日 (火)	第35回入学式
	第1学期始業式
	新任式
4月14日 (火)	観桜会おもてなしプロジェクト
4月16日 (木)	観桜会おもてなしプロジェクト
4月17日 (金)	P T A総会
	後援会総会
4月20日 (月)	第1回避難訓練
4月21日 (火)	全国学力・学習状況調査



上越教育大学学報

第 132 号 平成 27 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214